

ポータブルCDアンプ 取扱説明書

品番 WE-370

もくじ

ご使用前に

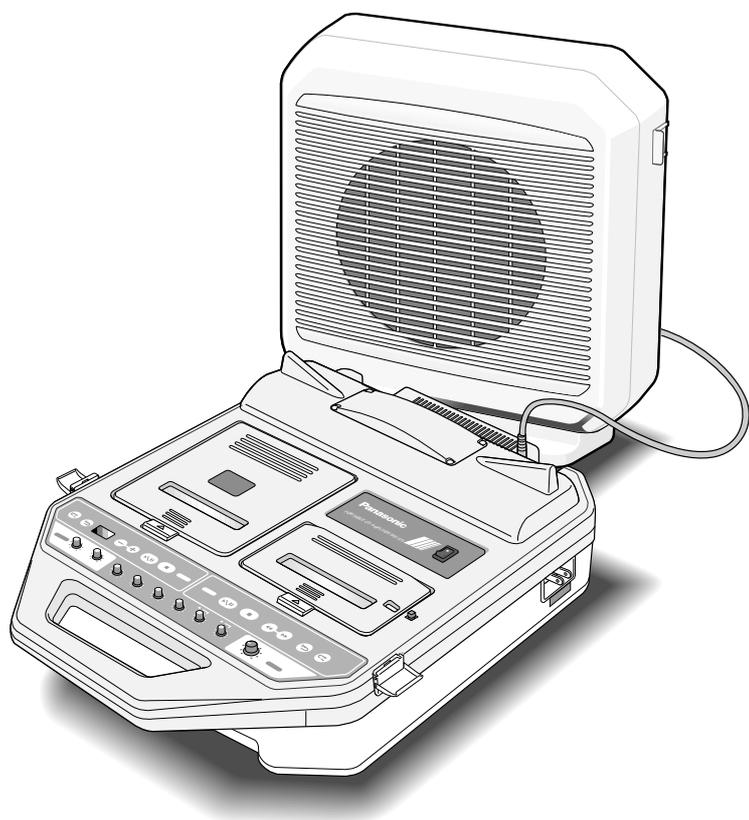
安全上のご注意	2
取り扱い上のお願い	3
はじめに	4
商品概要	4
付属品をご確認ください	5
本文中の表現について	5
別売品	5
各部のなまえ	6

操作方法

CDを演奏する	8
テープを演奏する	10
放送する	12

その他

チューナーユニットの取り付けかた	13
お手入れ	15
CDプレーヤー	15
カセットプレーヤー	15
故障かな!?	16
仕様	17
保証とアフターサービス	18



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、ポータブルCDアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがあるなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

雷が鳴ったら屋外で使わない



禁止

落雷の恐れがあります。

- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

取り扱い上のお願ひ

使用（設置）環境について

- 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、極端に寒い場所、湿気やほこりの多い場所は避けてください。
- 使用温度範囲は+5°C~40°Cです。
+5°C以下の寒いところや、40°C以上の暑いところでは、内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。
- アンプやテレビの近く、磁気が発生する場所、振動の激しい場所、不安定な場所は避けてください。

CDプレーヤーについて

- 次のような場合、CDプレーヤーのレンズに露（水滴）がついて正しく演奏できない場合があります。このようなときは電源を入れ、約1~2時間待ってからご使用ください。
 - ・ 暖房を始めた直後の部屋
 - ・ 湯気や湿気の多い場所に置いてあるとき
 - ・ 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
- CDプレーヤーのレンズにほこりが付かないように、CDプレーヤーふたは必ず閉じておいてください。またレンズには手を触れないでください。
- CDプレーヤーを演奏するときは、他のチューナーやテレビから離してください。雑音や画像の乱れを生じることがあります。

ワイヤレスマイク使用時

- ワイヤレスマイクの到達距離は、50 cm高の台上で見通し距離、約40 mです。使用時はできるだけ高い台の上に置いてください。
また、チューナーユニットを2台同時に使用する場合は、干渉を避けるため、ワイヤレスマイクと本機の距離を1 m以上離してください。

カセットテープについて

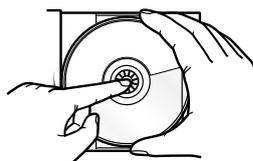
- テープを引き出ししたり、テープ面に触れたりしないでください。
- 保管するときは必ず本体から取り出してください。また、磁気の影響を受けやすい場所（テレビの上など）には置かないでください。
- 120分テープは使用しないでください。一般のテープと比べて非常に薄くトラブルの原因となります。

CD（コンパクトディスク）について

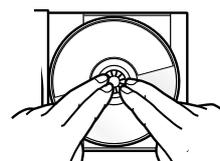
- 本機で使用できるCDは、右のマークが入っているものに限ります。



- ケースからの出し入れは、次のように行ってください。



センターホルダーを押さえ、演奏面に触れないように出す



ラベル面を上にして、上から押さえて入れる

- CDを持つときは、必ずセンターホールと外周部分を持ってください。演奏面には触れないでください。



- ラベル面に紙などを貼ったり、字を書いたり、傷をつけないでください。

- CDは曲げないでください。



- CDに汚れやゴミがついたときは、水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。（必ず内側から外側へ拭いてください。）



- CDを長時間使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。また、直射日光が当たるところや暖房器具の近くには置かないでください。

本機のお手入れ

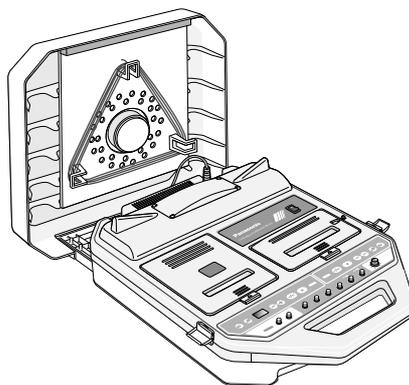
- 電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、よく絞り、軽くふいてください。
ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

はじめに

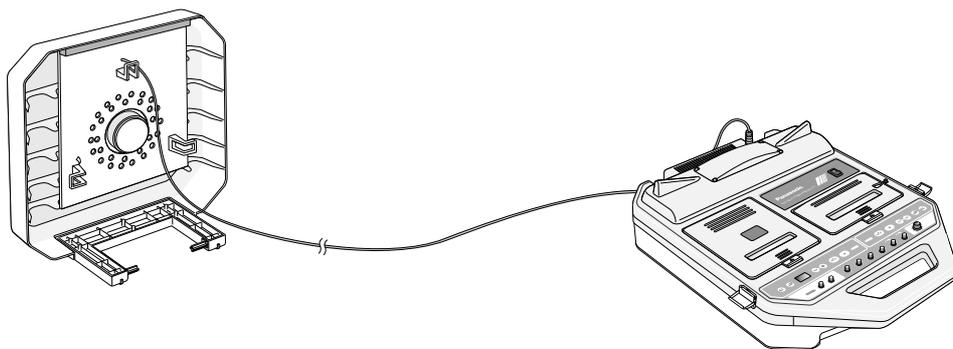
商品概要

- 本機は、CDプレーヤーとカセットプレーヤーを搭載したポータブルアンプです。有線マイクとワイヤレスマイクを使用することができます。(チューナーユニット1台装着済み)
- スピーカー部を本体から約10 m離して使用することができます。
- 別売のチューナーユニットを1台追加することにより、2チャンネルのワイヤレスマイクを使用することができます。(チューナーユニットは2台まで取付可能)

[スピーカー部を開いた状態(通常の使用状態)]



[スピーカー部を離れた状態]



お願い

- ご使用の際は、必ずスピーカー部を開けるか、または離してください。
- 本体部は必ず水平の状態でご使用ください。
- 不安定な場所には設置しないでください。

付属品をご確認ください

グループ・チャンネル設定用ドライバー	1
チャンネル表示ラベルシート	1
チューナーユニット（本機に装着済み）	1
取扱説明書（本書）	1
保証書	1

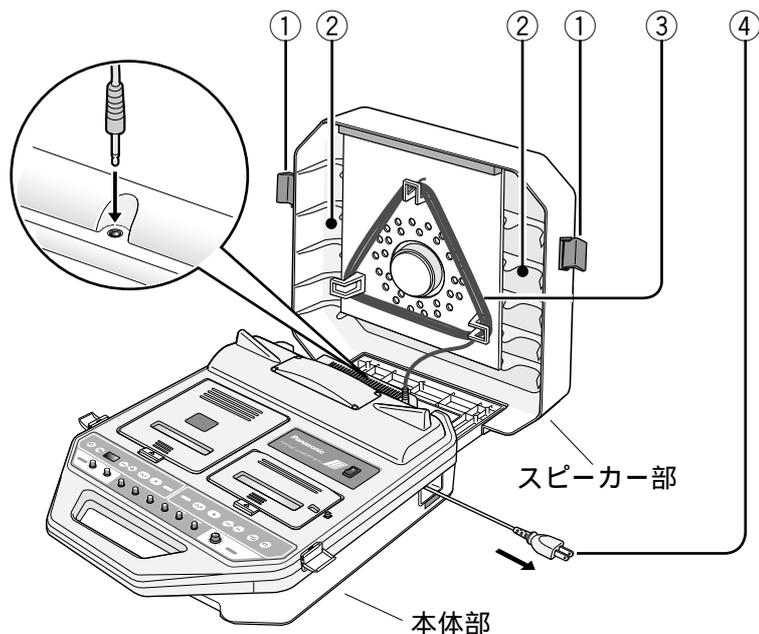
本文中の表現について

- コンパクトディスクを“CD”と表現しています。
- 操作ボタンの上にあるランプを“LED”と表現しています。

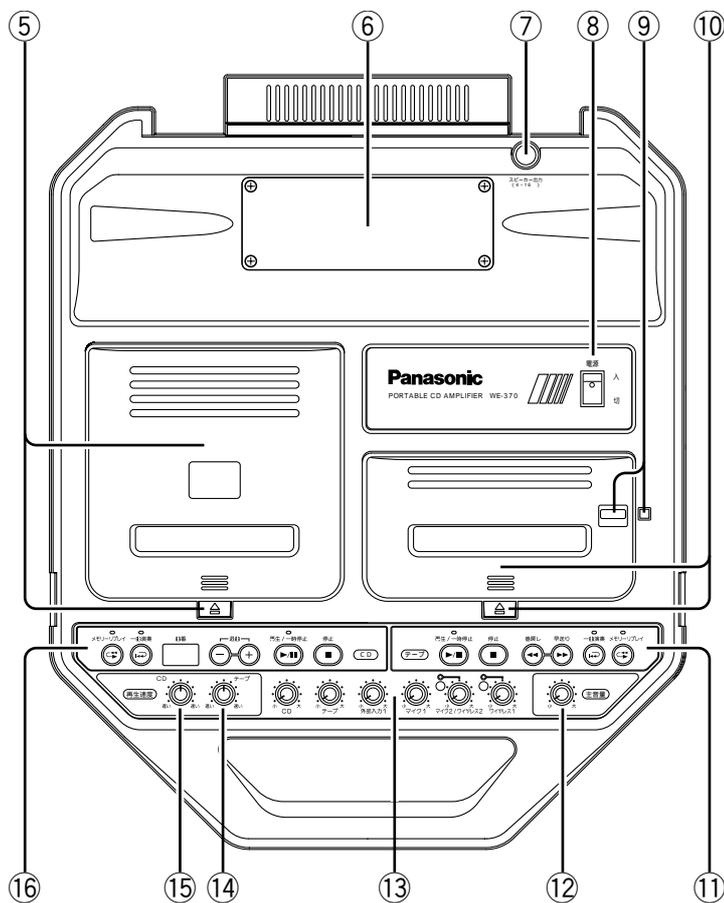
別売品

チューナーユニット（品番：WX-D4004）

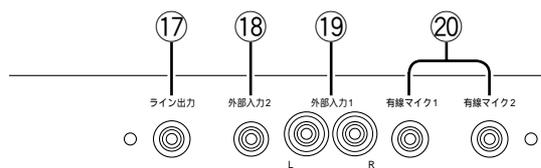
各部のなまえ



本体部



接続端子部



ご使用前に

- ① バックル
本体とスピーカー部を固定します。スピーカー部の開け閉めは、このバックルを持って行くと安全に開け閉めができます。
- ② ワイヤレスマイク収納スペース（2本）
ワイヤレスマイク WX-4100Bを収納できます。
- ③ スピーカーケーブル
巻き枠（3ヶ所）にスピーカーケーブルを巻いて収納します。スピーカー部と本体を離して使用するときは、この枠からケーブルを外し約10 mまで延ばせます。
- ④ 電源コード
使用するときにはまっすぐ引き出します。引くのをやめるとロックされます。戻すときは、少し引いて離すとリールに巻き取られ収納できます。
- メモ** ●黄色のマークが現れたらそれ以上引き出さないでください。断線など故障の原因となります。また、無理に押し込まないでください。
- ⑤ CDふた、ロックボタン
- ⑥ ワイヤレスチューナー装着部
別売のチューナーユニットを2台取り付けることができます。（ 13, 14ページ）
- ⑦ スピーカー出力端子
スピーカーケーブルのプラグを差し込みます。
- ⑧ 電源スイッチ
- ⑨ テープカウンター、リセットボタン
カセットテープの走行量を表示します。リセットボタンを押すとテープカウンターが“000”になります。
- ⑩ カセットテープふた、ロックボタン
- ⑪ カセットプレーヤー操作ボタン
操作方法は10～11ページをご覧ください。
- ▶/■ : 再生/一時停止ボタン
■ : 停止ボタン
◀◀ : 巻戻しボタン
▶▶ : 早送りボタン
↺ : 一曲演奏ボタン
↻ : メモリーリプレイボタン
- ⑫ 主音量調節つまみ
スピーカー音量を調節します。ライン出力を調節するときも使用します。通常は最大の位置に合わせます。
- ⑬ 音量調節つまみ
表示されている機器の音量を調節します。使用していないつまみは、最小の位置にしてください。
- CDとはCDプレーヤー、テープとはカセットプレーヤーのことです。
 - 外部入力とは、外部入力端子に接続した機器のことです。
 - マイク1、マイク2とは、有線マイク入力端子1、2に接続したマイクのことです。
 - ワイヤレス1、ワイヤレス2とは、ワイヤレスマイク1、2のことです。
- ⑭ テープ再生速度つまみ
カセットプレーヤーの再生速度を調節します。中心のクリック位置が標準速度、時計方向（右）に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。（+8/-10%）
- ⑮ CD再生速度つまみ
CDプレーヤーの再生速度を調節します。通常は中心のクリック位置で使用します。時計方向（右）に回すと速くなり、逆に回すと遅くなります。（±10%）
- ⑯ CDプレーヤー操作ボタン
操作方法は8, 9ページをご覧ください。
- ↺ : メモリーリプレイボタン
↻ : 一曲演奏ボタン
- + : 選曲ボタン
▶/■ : 再生/一時停止ボタン
■ : 停止ボタン
- ⑰ ライン出力端子（複式フォーンジャック）
増設用アンプ（デスク型音響装置やAV卓）などに接続します。（0 dB, 200 Ω, 電子平衡）
- ⑱ 外部入力2端子（複式ミニジャック）
ラジオカセットなどの出力を接続します。モノラルになります。（0 dB, 10 k Ω, 不平衡）
- ⑲ 外部入力1端子（RCAピンコネクタ）
カセットデッキなどの出力を接続します。モノラルになります。（-10 dB, 10 k Ω, 不平衡）
- メモ** ●1台のカセットデッキの入力と出力を同時に接続しないでください。
- ⑳ 有線マイク1、2入力端子（複式フォーンジャック）
有線マイクを接続します。有線マイク2接続時は、ワイヤレスマイク2が使用できません。（-5.6 dB, 1 k Ω, 電子平衡）

CDを演奏する



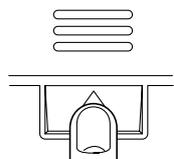
1



電源を入れる

電源スイッチの上側（入と表示されている側）を押します。

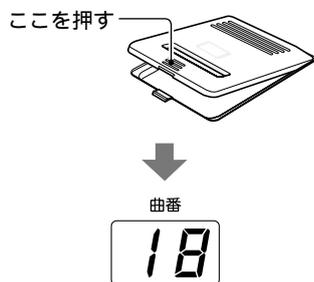
2



CDふたを開ける

ロックボタンを押します。1段目が軽く開きますので、ロックするまで手で大きく開けてください。

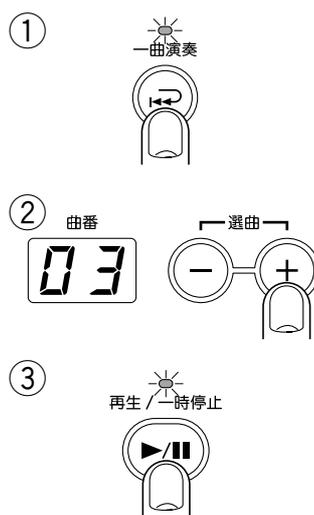
3



CDを入れ、CDふたを閉める

総曲数が表示されます。（例：総曲数が18曲の場合）
CDはラベル面が上になるように正しく入れてください。また、CDふたは確実に閉めてください。

4



演奏する（一曲演奏、連続演奏）

●一曲演奏するとき

手順①,②,③の操作を行ってください。選んだ曲を演奏し、演奏が終わると自動で停止します。

手順①：一曲演奏ボタンを押します。（LED点灯）

手順②：選曲ボタンを押して曲を選びます。

（例：3曲目を選曲した場合）

手順③：再生/一時停止ボタンを押します。（LED点灯）

●連続演奏するとき

手順③の操作のみ行ってください。1番目の曲から演奏します。

メモ

●演奏中およびCDの回転中にCDふたを開けないでください。

5



音量を調節する

CD音量調節つまみを回し、好みの音量に調節します。
（主音量調節つまみは通常最大にします。）

6



演奏を停止する

停止ボタンを押します。
CDを交換するときは、CDの回転が完全に止まってから取り出してください。

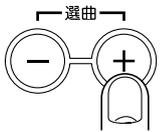
演奏中の操作

演奏を一時停止するときは



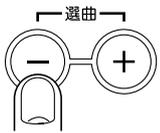
- 演奏中に再生/一時停止ボタンを押します。(LED点滅)
- もう一度押すと一時停止を解除し、演奏を再開します。(LED点灯)

演奏中に選曲するときは



- 選曲ボタンをくり返して押し、選曲したい番号を表示させます。

演奏中の曲をやり直すときは



- 選曲ボタン(-)を1回押します。

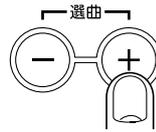
お願い

- CDにゴミや傷が付いていたり、裏表を逆に入れたときは、右のような表示がされることがあります。このようなときは、CDの裏表を確かめるか、清掃したり交換してみてください。
- CDを演奏するときは、温度があまり高くない所でお使いください。また本体は、必ず平らに置いてご使用ください。
- 演奏が終わったらCDを取り出し、CDふたを閉めておいてください。
- CDの内容によっては音とびを起こすことがあります。このようなときはスピーカーを遠ざけてください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、振動の多いところで使用すると音とびを起こすことがあります。このようなところでの使用は避けてください。
- 曲を選曲してから曲の頭を見つけるまでは、表示窓のトラックナンバーは点滅しますので、選曲ボタンを押したとき表示が消えている場合があります。

便利な使い方

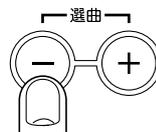
サーチ演奏

演奏中に早送りや早戻しをすると、好みの位置を探することができます。



[早送り]

- ①早送りするときは選曲ボタン(+)を押しつつ、早戻しするときは選曲ボタン(-)を押しつつ。



[早戻し]

- ②早送りや早戻しの音が小さく(演奏中の約1/4)聞こえますので、この音を聞きながら好みの位置で指を離します。

メモリーリプレイ演奏

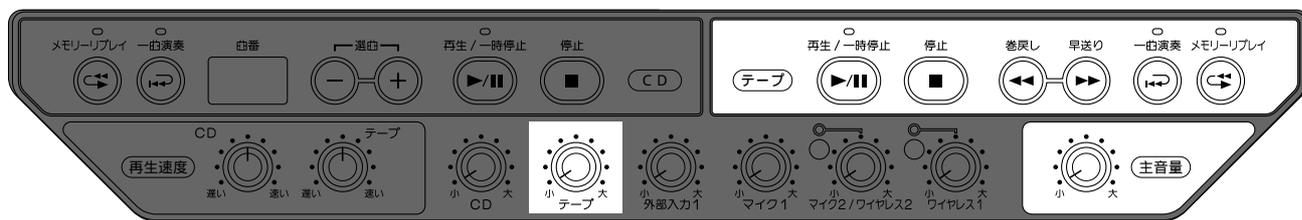
好みの位置から何回も演奏を開始します。



[メモリーリプレイ演奏状態]

- ①再生/一時停止ボタンを押してCDを演奏します。
- ②繰り返し聞きたい好みの位置にきたらメモリーリプレイボタンを押します。(LED点灯)
- ③停止ボタンを押して演奏を停止します。
- ④再生/一時停止ボタンを押します。手順②で記憶された位置から演奏が始まります。
- ⑤メモリーリプレイ演奏を解除するときは、もう一度メモリーリプレイボタンを押します。(LED消灯)

テープを演奏する



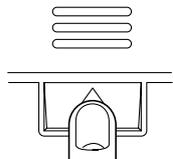
1



電源を入れる

電源スイッチの上側（入と表示されている側）を押します。

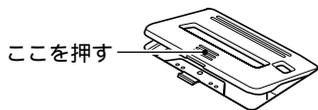
2



カセットテープふたを開ける

ロックボタンを押します。1段目が軽く開きますので、ロックするまで手で大きく開けてください。

3



テープを入れ、カセットテープふたを閉める

カセットテープふたは確実に閉めてください。

4



演奏する

再生/一時停止ボタンを押します。（LED点灯）

5



音量を調節する

テープ音量調節つまみを回し、好みの音量に調節します。（主音量調節つまみは通常最大にします。）

6



演奏を一時停止するとき

再生/一時停止ボタンを押します。（LED点滅）
もう一度押すと一時停止を解除し、演奏を再開します。

7

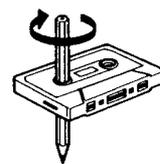


演奏を停止する

停止ボタンを押します。

お願い

- クロムテープやメタルテープ、またドルビー等の雑音低減回路を使用して録音されたテープを再生すると、聞きづらい音になりますので使用しないでください。
- 100分を超えるテープは一般のテープと比べて非常に薄く作られており、ピンチローラーに巻き付く恐れがありますので使用しないでください。
- テープにたるみがあるときは、鉛筆などで巻き取ってからご使用ください。テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



便利な使い方

頭出し

曲の頭出しを行います。



- ①今聞いている曲の頭出しをするときは、再生中に巻戻しボタンを押します。頭出しが終わると、自動で再生が始まります。
- ②次の曲の頭出しをするときは、再生中に早送りボタンを押します。頭出しが終わると、自動で再生が始まります。
- ③何曲か飛び越して頭出しするときは、手順①または手順②の操作をくり返し行います。

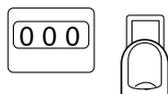


メモリーリプレイ演奏

好みの位置からくり返し演奏を開始します。



- ①メモリーリプレイボタンを押します。(LED点灯)
- ②再生/一時停止ボタンを押してテープを演奏します。
- ③繰り返し聞きたい好みの位置にきたらカウンターのリセットボタンを押して、カウンターを“000”にします。
- ④停止ボタンを押して演奏を停止します。
- ⑤巻戻しボタンを押します。
カウンターの数字が“999”になると巻き戻しを停止し、自動で再生が始まります。
- ⑥メモリーリプレイ演奏を解除するときは、もう一度メモリーリプレイボタンを押します。(LED消灯)



- メモ** ●メモリーリプレイ演奏時に早送りボタンを押すと、通常の早送り状態になり、カウンターが“999”になっても再生状態にはなりません。

一曲演奏

同じ曲をくり返し演奏します。

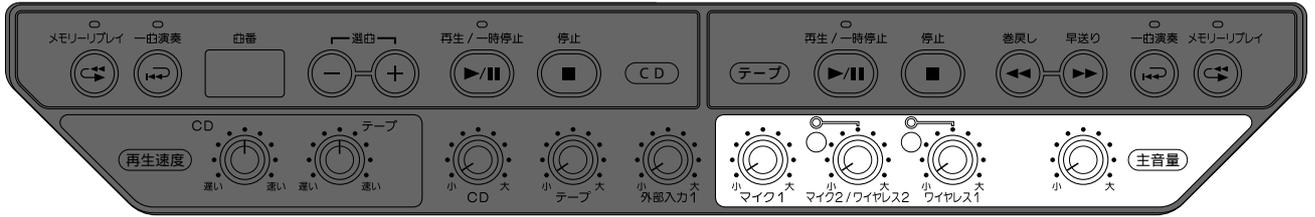


- ①一曲演奏ボタンを押します。(LED点灯)
- ②再生/一時停止ボタンを押してテープを演奏します。
- ③曲の終わりになると自動的に巻き戻し、その曲の頭出しを行い停止します。
- ④再生/一時停止ボタンを押してテープを演奏します。
- ⑤一曲演奏を解除するときは、もう一度一曲演奏ボタンを押します。(LED消灯)

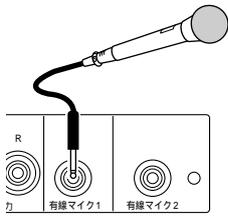
- メモ** ●次のような場合、頭出し、一曲演奏が正常に動作しないことがあります。故障ではありません。
- ・音楽でピアノシモの部分(音が非常に小さい部分)が長く続く曲や曲中に無録音部分があるもの、スピーチのテープ
 - ・曲間(無録音部分)が短い(4秒以下)テープ
 - ・曲間(無録音部分)に大きな雑音(ハム)が録音されているテープ

放送する

2本目のワイヤレスマイクを使用するには、チューナーユニット（別売品）を取り付ける必要があります。チューナーユニットの取り付けは、お買い上げの販売店にご依頼ください。



1



マイクを準備する

- 有線マイクを使用するとき
有線マイク1または有線マイク2入力端子にマイクを接続します。
- ワイヤレスマイクを使用するとき
電池を入れ、電源が入ることを確認します。

2



電源を入れる

電源スイッチの上側（入と表示されている側）を押します。

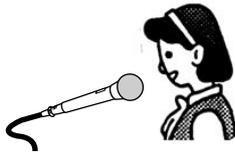
3



音量を調節する

使用するマイクの音量調節つまみを回し、適切な音量に調節します。（主音量調節つまみは通常最大にします。）

4

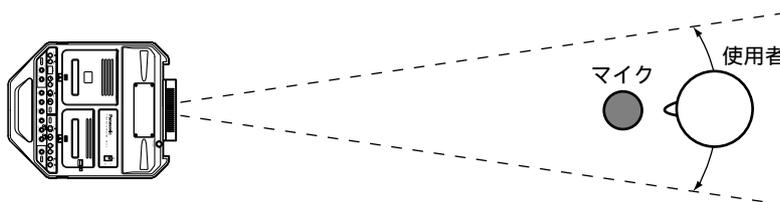


放送する

マイクに向かって話します。

メモ

- マイクとスピーカーの距離を離してください。近くで使用するとハウリング（キーンという音）がおきやすくなります。
- 有線マイク2を接続するとワイヤレスマイク2は使用できなくなります。
- 本機のすぐ近くに電気雑音を発生する機器があると、ワイヤレスマイクの音が途切れることがあります。このようなときは、ワイヤレスマイクと本機を近づけるか、本機の設置場所を変えてください。
- 屋内等でワイヤレスマイクを移動しながら使用すると、電波の反射や干渉によって急に音が途切れる場所があります。これをデッドポイントといいます。デッドポイントを解消するには、本機を金属製の机やロッカーなどから離すか、設置場所を1 m～2 m移動してください。
- ワイヤレスマイクと本機の向きは、次の状態が最良です。

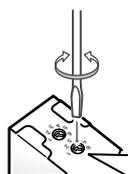


チューナーユニットの取り付けかた

- 事故防止のため、必ずお買い上げの販売店へご依頼ください。
- チューナーユニットの取付時は、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。ショートや感電の恐れがあります。

1

グループ・チャンネル
設定用ドライバー
(付属品)



受信周波数
切替スイッチ

チャンネル



グループ

チューナーユニットの受信周波数を合わせる

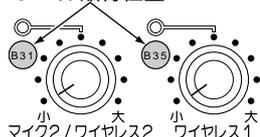
- 使用する周波数を“受信周波数表”から選択し、受信周波数切替スイッチのグループとチャンネルをそれぞれ合わせます。
表にないグループやチャンネルに合わせると受信できません。
[受信周波数806.625 MHzを使用する場合]
グループを“3”、チャンネルを“1”に合わせます。
- 2台取り付けるときは、同じグループの異なるチャンネルに設定します。

● 受信周波数表

周波数 (MHz)	グループ(下2桁目) チャンネル(下1桁目)					
	1	2	3	4	5	6
806.125	B11					
806.250		B21				
806.375	B12					
806.500		B22				
806.625			B31			
806.750				B41		
806.875			B32			
807.000		B23				
807.125	B13					
807.250						B61
807.375			B33			
807.500				B42		
807.625					B51	
807.750	B14					
807.875		B24				
808.000				B43		
808.125					B52	
808.250			B34			
808.375					B53	
808.500		B25				
808.625			B35			
808.750					B54	
808.875		B26				
809.000	B15					
809.125				B44		
809.250			B36			
809.375				B45		
809.500	B16					
809.625					B55	
809.750				B46		

2

ラベル貼付位置



マイク2/ワイヤレス2 小 大 小 大
ワイヤレス1

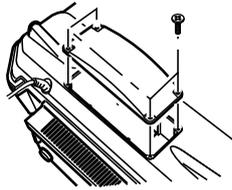
チャンネル表示ラベルを貼る

手順1で設定した周波数を表すチャンネル表示ラベル(付属品)を本機に貼ります。

その他

チューナーユニットの取り付けかた（つづき）

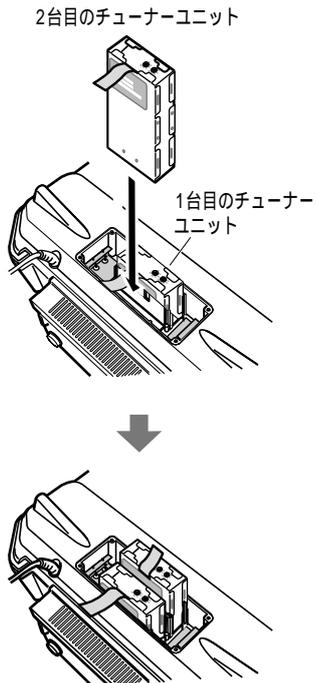
3



ワイヤレスチューナー装着部を開ける

ねじ（4本）を外してふたを開けます。

4



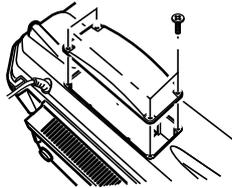
チューナーユニットを収納する

組み込まれている1台目のチューナーユニットと同じ向きで収納します。コネクタが確実に差し込まれるように装着してください。

メモ

- チューナーユニットの上下を間違えないでください。コネクタが下向きになります。

5



正しく受信することを確認し、ふたを閉める

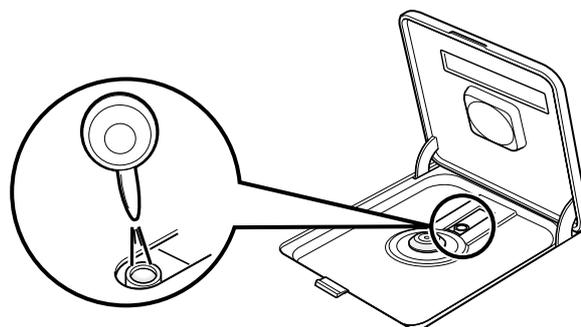
使用するワイヤレスマイク取扱説明書に従って、ワイヤレスマイクの送信周波数をチューナーユニットの受信周波数と合わせます。正しく使用できることが確認できたらふたを閉めます。（手順3参照）

お手入れ

CDプレーヤー

CDプレーヤーのレンズにほこりが付いたときは、市販のレンズクリーニング用ブローアを使いほこりやゴミをはきだしてください。

- CDの出し入れ以外は、ふたを必ず閉じておいてください。
- レンズには手を触れないでください。



カセットプレーヤー

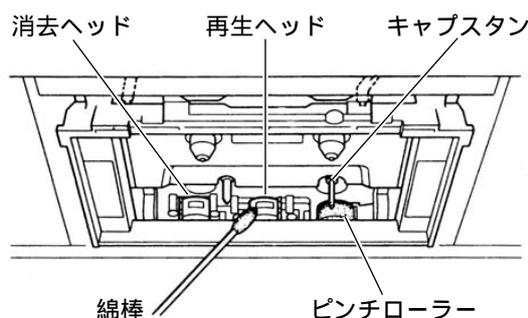
ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーの清掃

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーは常にテープが接触するため、磁性粉やゴミなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると次のような症状が出てきますので、症状が出る前に市販のクリーニングキットを使い、定期的（約10時間の使用を目安）にヘッド部を清掃してください。

- 音質が悪い
- 音が小さい
- 前の音が消えずに残る

[清掃手順]

- ①カセットテープふたを開けます。
- ②綿棒にクリーナー液をしみ込ませ、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなどのテープが触れる部分の汚れをふき取ります。
- ③清掃後は、内部に付いたクリーナー液が十分に乾いてから使用してください。



ヘッドの消磁

ヘッド部が磁化されると、雑音（サーサーという音）が増えたり、高音域が消されたりします。約100時間の使用を目安にヘッド消磁機（市販品）で消磁することをおすすめします。消磁方法については、ヘッド消磁機の取扱説明書をご覧ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが抜けている 電源コードを確実に差し込んでください。 	-
テープの再生音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド部が汚れている 定期的に清掃してください。 	15
CDが演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> CDが裏返しになっている ラベル面が上になるようにしてください。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている 柔らかい乾いた布で演奏面を清掃してください。 	3
	<ul style="list-style-type: none"> レンズに露が付いている 電源を入れ、約1～2時間待ちます。 	3
スピーカーから音が出ない、または小さい	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーコードが抜けている スピーカーコードを確実に差し込んでください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> 主音量調節つまみが絞ってある 主音量調節つまみを右に回してください。 	-
有線マイクの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> マイクコードが抜けている マイクコードを確実に差し込んでください。 	12
ワイヤレスマイクの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 適合ワイヤレスマイク以外を使用している 適合ワイヤレスマイクを使用してください。 	-
	<ul style="list-style-type: none"> マイクとチューナーの周波数が合っていない マイクとチューナーの周波数を合わせてください。 	13, 14
音が歪む	<ul style="list-style-type: none"> 入力音量調節つまみが大きい 入力音量調節つまみを下げて、主音量調節つまみを上げてください。 	-

仕様

0 dB = 0.775 V

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	30 W
最大出力	25 W (定格出力15 W)
スピーカー	20 cmコーン型、4
周波数特性	100 Hz ~ 10 kHz (外部入力、定格より - 10 dB出力時)
ひずみ率	5 %以下 (外部入力、1 kHz、定格出力時)
入力回路 (0 dB = 0.775 Vrms)	有線マイク × 2 : - 56 dB、1 k Ω 電子平衡、複式フォーンジャック 外部入力1 × 1 : - 10 dB、10 k Ω 、不平衡 RCAピンコネクタL・R (モノラル) 外部入力2 × 1 : 0 dB、10 k Ω 、不平衡 複式ミニジャック (モノラル)
出力回路 (0 dB = 0.775 Vrms)	スピーカー : 15 W、4 Ω 、フォーンジャック (モノラル) ライン : 0 dB、200 Ω 電子平衡、複式フォーンジャック (モノラル)
CDプレーヤー	再生/一時停止、停止、選曲 (+/-)、早送り、早戻し、一曲演奏、 メモリーリプレイ、速度微調節 ($\pm 10\%$) 機能付き
カセットプレーヤー	2トラックモノラル 再生速度微調節 (+8%、-10%)、頭出し、一曲演奏、メモリーリプレイ、 フルオートストップ機能付き
ワイヤレスチューナー	1台目 : 800 MHz帯PLLダイバシティワイヤレスチューナーユニット装着済み 2台目 : 専用チューナーユニット WX-D4004を1台装着可能 (別売)
使用温度範囲	+5 °C ~ +40 °C
外形寸法	幅354 mm 高さ210 mm 奥行き436 mm
質量	6.8 kg (チューナーユニット1台を含む)

有線マイク2接続時は、ワイヤレスマイク2は使用できません。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は...

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このポータブルCDアンプの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

16ページに従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	ポータブルCDアンプ
品番	WE-370
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WE-370
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410